

知る・つなぐ・支える ヤングケアラー支援 (千葉県船橋市)

取組概要

【知る】周知・啓発活動

※自身がヤングケアラーだと思う:1.6%(355人)、世話をしている家族等がいる4.8%(1,084人)

【つなぐ】ヤングケアラーコーディネーターの配置・相談支援体制の構築

【支える】支援事業の整備・活用

～配食サービス、ホームヘルプサービス、ファミリー・サポート・センター利用料補助～

人口 648,194 人 (R6.5.1現在)

担当 子ども家庭部 子ども家庭支援課

取組の効果

～母子・父子自立支援員の相談から、中・高校生学習支援事業等から～

・既存事業や他制度からの引継ぎによりヤングケアラーに**気づく**

※誰かに相談するほどの悩みではない(小学生66.8% 中学生73.8%)・手助けしてほしいことは特にない(小学生46.6% 中学生41.8%)

・サービスを受けていない人を利用可能な他のサービスへ**つなぐ**

・役所への相談・サービス利用の垣根を低くする

・支援は一時的だが、子どもが希望の進路へ進む一助に



コーディネーターが食料を配達する様子

創意・工夫した点

・LINE相談や配食など利用しやすいサービスの導入

・一時的な支援の終着点の見極めと有効性を意識した関わりを実践

他団体へのアドバイス

ヤングケアラーが**どこにいても、等しく支援が届くよう**、また、すべての子どもたちが**今の時間を大切に過ごせるよう**共に取り組みましょう！



広報ふなばし令和5年7月15日号